

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 ぎふ県産品流通拡大支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 国内展開係 電話番号：058-272-1111 (内 3092)

E-mail : c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額：5,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県内には、美濃焼や飛騨の家具、関の刃物など、国内外で知名度の高い地場産業がある一方で、知名度が低く、販路開拓に苦慮している事業者も少なくない。
- ・2020東京オリンピック・パラリンピック開催により、首都圏に国内外から多くの観光客の訪問が見込まれることから、「岐阜ブランド」をアピールする絶好の機会と捉え、首都圏に向けた流通支援を強化する。

(2) 事業内容

①ぎふ県産品流通拡大支援事業

- ・オリンピック・パラリンピック大会組織委員会 (以下、「大会組織委員会」) や大会関係者等を訪問し、県産品の活用に関する情報収集を行うとともに、大会後を見据えた県産品の売込を図る。

②県産品展示・PR事業

- ・オリンピック・パラリンピック開催に関連する首都圏でのイベントにおい

て県産品の展示・P Rを実施し、首都圏のバイヤーや消費者等に向けた県産品の認知度向上を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,178	職員業務旅費、費用弁償
需用費	696	事務消耗品費
委託費	3,096	県産品の展示、P R
役務費	30	通信運搬費
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」

[3]海外展開・販路拡大支援プロジェクト

(2) 国内におけるビジネスチャンスの提供

(2) 後年度の財政負担

企業知名度及び県産品イメージの定着を図るため、継続的な支援が必要。

(3) 事業主体及びその妥当性

県が積極的に首都圏に向けた県産品の流通支援を行うことで、県内中小企業の販路拡大や商品・事業者の知名度向上が期待できる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

首都圏における県産品の流通拡大を通じ、岐阜県地場産業の魅力発信・知名度向上と新たな市場開拓を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移			現在値	目 標	達成率
				(H)			
県産品を展 示・販売す る商品数		63 商品 (H30)	169 商品 (R1)		34 商品 (R2)	100 商品 (R3)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

オリ・パラ大会組織委員会や大会スポンサー企業等へ訪問し、県産品の売込みを図ったほか、大会に関わる関係者が集う各種イベントにおいて美濃和紙製品等の展示や日本酒の試飲を実施した。

（前年度の成果）

オリ・パラ大会の関係者に対し、商品を手にとって対面で説明することで、美濃和紙製品をはじめとする県産品の良さを知ってもらうことができた。
（美濃和紙については、大会入賞者の表彰状への採用につながった）
東京2020大会記念品プロジェクトに参画し、工芸品4品目各10個（飛騨春慶、一位一刀彫、美濃和紙、養老焼）が選定された。東京2020公式ライセンス商品として、4事業者5商品（関の刃物、岐阜提灯、東濃ひのき製品）が販売されている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	東京オリンピック・パラリンピック大会開催を「岐阜ブランド」を首都圏でアピールする絶好の機会と捉え、首都圏に向けた県産品の流通支援を県が積極的に行うことで、県内中小企業の販路拡大と商品・事業者の知名度向上が期待できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	首都圏の消費者・バイヤーの県産品に対する認知度が向上することで、県産品の購入に対する意欲度が向上することから、事業の有効性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	首都圏の消費者・バイヤーとのネットワークのほか、県産品の販売に関するノウハウを有している者に事業委託することにより、民間ノウハウを活用した効率的な運営が可能。

(今後の課題)

<p>2020東京オリンピック・パラリンピック大会本番という絶好の機会を逃すことなく、これまで掘り起こしや開発を進めてきた魅力ある県産品を更に磨き上げ、流通事業者との関係強化を進めながら効果的なPRなどを組み合わせることが必要。</p> <p>「つくる」「つなぐ」「伝える」のサイクルを回し、岐阜ブランドの発信を進め、2021年以降の販路開拓を展開していく。</p>

(次年度の方向性)

<p>首都圏での消費者ニーズを的確に把握し、県産品の磨き上げ・流通拡大の促進を図るとともに、認知度向上に向けた取組みを進めていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【○○課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	